

平成29年度
ふるさと島根寄附金活用事業成果報告書
～平成28年度寄附金を活用した事業の成果～

(問い合わせ先)

〒690-8501 松江市殿町1番地

島根県政策企画監室

電話番号：0852-22-6063

FAX番号：0852-22-6034

電子メール：kifu@pref.shimane.lg.jp

～目 次～

1	活用成果の概要	- 1 -
2	寄附金を活用して実施した事業の成果	- 2 -
(1)	産業の振興に関する事業	- 2 -
(2)	自然環境の保全に関する事業	- 4 -
(3)	医療・福祉の充実に関する事業	- 6 -
(4)	教育・文化の振興に関する事業	- 8 -
(5)	子どもの読書活動の促進に関する事業	- 11 -
(6)	竹島の領土権の確立に関する事業	- 13 -
(7)	森林の保全及び整備に関する事業	- 14 -
(8)	防災対策の推進に関する事業	- 15 -
(9)	移住及び定住の促進に関する事業	- 16 -

1 活用成果の概要

平成28年度は1,751名の方から29,799,008円の寄附をいただきました。

いただいた寄附は、ふるさと島根基金に積立て、次のとおり平成29年度の事業に一部を活用させていただきました。

寄 附 メニュー	寄附を活用した 事業費（円）	平成28年度 寄附額（円）
産業の振興	12,410,366	989,300
自然環境の保全	3,499,958	2,630,282
医療・福祉の充実	2,632,040	2,082,000
教育・文化の振興	19,148,254	1,355,005
子どもの 読書活動の促進	2,631,000	1,401,603
竹島の領土権の確立	8,988,077	5,121,310
森林の保全及び整備	4,252,242	656,000
防災対策の推進	1,000,000	292,500
移住及び定住の促進	52,594,621	452,008
結婚・出産・子育て の支援	-	※ 813,000
事業の指定なし	-	※ 14,006,000
合計	107,156,558	29,799,008

※「結婚・出産・子育ての支援」分は、翌年度以降に活用させていただきます。

※「事業の指定なし」分は、「移住及び定住の促進」に配分して活用させていただきました。

2 寄附金を活用して実施した事業の成果

(1) 産業の振興に関する事業

【対象事業】

- ①島根県グローバル人材育成支援事業
- ②企業誘致のためのPR活動事業

【事業の成果及び事業費】

- ①島根県グローバル人材育成支援事業

島根県内企業でのインターンシップと海外留学を通じて、県内産業・地域の活性化に貢献するグローバルな人材を育成し、県内への定着を図るため6名（島根大学5名、松江高専1名）を選定し派遣を行いました。

事業費：9,041千円



留学生活動実績

No.	高等教育機関名	留学先	目的
1	島根大学	インド、タイ	世界の市場【アジア】で島根のパイプ作り
2	島根大学	オランダ、エストニア、イスラエル	島根の“農業”× ITでイノベーション
3	島根大学	アメリカ合衆国	島根県の観光客増加を目指したコンテンツ産業の拡充に貢献
4	島根大学	シンガポール、インドネシア	観光立国から島根の歴史・文化を売り込むためのノウハウを学ぶ
5	島根大学	インドネシア、オーストララ、ニュージーランド	島根県を「遠方からでも通いたくなる安穩処～unknown place～へ」 海外の“Botanical Therapy”という概念を学び、人の温かみや自然を感じられる島根（また来たくなる島根）の空間を作る。
6	松江高専	シンガポール	島根を背負って立つエンジニアへの進化

②企業誘致のためのPR活動

大都市圏における島根県への企業誘致PR活動として、既立地企業の親企業との関係強化と関西圏からの製造業誘致の強化を図るための企業立地セミナーや、UIターンの促進を図りIT人材の確保のため優良職業紹介企業と連携したIT人材マッチングイベントなどを開催しました。

参加人数：

- ・企業立地セミナー 94社（128名程度）
- ・企業主催のIT人材マッチングイベント 100名程度
- ・協同開催のIT人材マッチングイベント 50名程度

事業費：3,370千円



(2) 自然環境の保全に関する事業

【対象事業名】

宍道湖・中海件名利用促進事業

【事業の成果・事業費】

自然豊かな宍道湖・中海への関心を深めてもらうとともに、水質保全等の環境意識を高め、ラムサール条約の柱である、保全再生、賢明な利用、環境教育、交流、普及啓発の事業を実施しました。

事業費：3,500千円

(1) 水辺に親しむ環境学習・普及啓発事業として、周辺住民の参加により人の五感で宍道湖・中海の評価を行う「湖沼環境モニター」を実施しました。

また、小中学生を対象とした流入河川調査では中海に流入する河川の水質調査だけでなく、学校独自の調査も実施し、学習発表会やポスター作成など優秀な取り組みを行った学校を表彰しました。



水質調査



環境学習での水鳥観察

(2) 宍道湖・中海で活動する子どもたちと山口県秋吉台周辺の湿地で活動する子どもたちとの交流会や鳥取県と共同で水鳥を主テーマにしたシンポジウムを開催しました。



子ども交流会



(3) 穴道湖・中海の沿岸市の各会場で、中海・穴道湖一斉清掃を実施しました。7,867人が参加し、全体で15.51トンのゴミを収集しました。



③小児療養環境向上事業

小児がんなど長期療養を必要とする子どもたちの療養環境の室の向上を図り子どもたちを支える家族を支援するため、子ども向け病衣の購入や医療用帽子の購入経費の助成を行いました。

(1) 子ども向け病衣の購入

療養中に点滴等を行っていても着脱しやすいかわいらしいパジャマを購入しました。

- ・ベビー用：4点
 - ・トドラー用：12点
 - ・キッズ用：8点
 - ・フリーサイズ：20点
- 合計44点を整備



(2) 医療用防止の購入経費の助成

がん治療による脱毛等で医療用帽子を必要とする子どもに対し、購入経費を助成しました。

- ・助成件数：2件

(4) 教育・文化の振興に関する事業

【対象事業】

- ①島根子どもたちの隠岐体験学習事業
- ②世界遺産 石見銀山遺跡の情報発信事業（セミナー・講座等開催）
- ③子どもの健康づくりサポート事業

【事業の成果及び事業費】

①島根子どもたちの隠岐体験学習事業

子どもたちのふるさと愛の醸成を行い、地域振興・観光振興に寄与する人材を育成するため、隠岐の島前と島後に分かれて体験学習を実施しました。

・前半行程：平成29年7月25日～27日

参加者数：51名（本土の子ども：48名、隠岐の子ども3名）

・後半行程：平成29年10月7日～9日

参加者数：28名（本土の子ども28名）

事業費：13,866千円



②世界遺産 石見銀山遺跡の情報発進事業（セミナー・講座等開催）

世界遺産・石見銀山遺跡について、その文化的価値や保安全管理への理解を普及するため県内外で関連講座を開催しました。

事業費：3,161千円

【県外講座（東京都）：テーマ「石見銀山と江戸のモノづくり」】

(1)講演内容

- ①「石見銀山遺跡とその文化的景観」
- ②「鉱山から始まった江戸のモノづくり」

(2)開催日時

平成30年3月24日

(3)受講者数 244名



石見銀山遺跡特別講座
「世界遺産・石見銀山と江戸のモノづくり」



江戸時代の日本は、世界有数の産出量も誇った金、銀そして銅などの鉱物資源により欧米に匹敵する富裕で安定した経済社会を実現させていました。江戸日本の社会・文化に影響を与えた石見銀山の役割と江戸時代のモノづくり技術の進化を学ぶことで、歴史の面白さをより深く知ることができます。

3月24日(土)13:30~15:40
【会場】時事通信ホール(東京・銀座)

入場無料
定員200名
事前応募制

講演①
「石見銀山遺跡とその文化的景観」
石見銀山資料館館長 仲野 義文 氏

講演②
「鉱山から始まった江戸のモノづくり」
国立科学博物館産業技術史資料情報センター長 鈴木 一義 氏

【主催】鳥取県教育委員会 【共催】読売・日本テレビ文化センター

【県内講座（飯南町）：テーマ「江戸の時代の陰陽を結ぶ 石見銀山街道」】

(1)講演・報告内容

- ①講演「石見銀山街道の歴史」
- ②報告「各地の石見銀山街道」

(2)開催日時

平成30年3月3日

(3)受講者数 50名



平成30年3月 石見銀山遺跡特別講座

江戸時代の陰陽を結ぶ
石見銀山街道
Iwami Gunzan Silver Mine
講演 × 報告 **入場無料**

講演
「石見銀山街道の歴史」
講師 藤野 氏 (石見銀山資料館学芸員)

報告
報告者 飯南町 各町会代表者

日時 **3月3日(土) 13:30~16:00** (13時開場)

会場 **赤名農村環境改善センター 大集會室**
〒687-0102 鳥取県赤名町赤名1-1-1

主催 鳥取県教育委員会
協賛 飯南町 各町会代表者

お問い合わせ
石見銀山世界遺産センター TEL:0954-64-0500

③子どもの健康づくりサポート事業

子どもたちがメディアとの上手なつきあい方を考え、望ましい生活習慣を確立させていくために、「子どもとメディア講演会」及び「健康とメディア専門家派遣事業」を実施しました。

事業費：2,121 千円

(1) 子どもとメディア講演会

メディアの使用が子どもの健康に及ぼす影響について、最新の情報をもとに問題意識の共有を図り、それぞれの立場での取り組みをしていくために講演会を開催しました。

- 対象：中学3年生 165名、教職員等 212名
- 内容：①「ネットやスマホを長く使うとどんな影響があるだろう？」
②「ネット・スマホ依存の現状と対応」



出雲市立斐川西中学校

(2) 健康とメディア専門家派遣事業

健康とメディアに関する詳しい知見を持つ専門家を希望する学校に派遣し、過度のメディア接触による健康被害や睡眠の重要性、メディアコントロールについての講演会や研修等を行いました。

- 派遣件数：80件
- 受講者数：約 8,300人

(5) 子どもの読書活動の促進に関する事業

【対象事業】

- ①おすすりめしたいこどものほん
- ②子どもの読書フェスティバル事業
- ③「ねえ、この本読んで」プロジェクト

【事業の成果及び事業費】

①おすすりめしたいこどものほん

推薦図書リスト「おすすりめしたいこどものほん」（乳幼児向）（小学生向）に掲載する本の選書と購入を行い、県民や図書館、学校等の団体に貸し出しました。

また、市町村立図書館、幼稚園、読み聞かせボランティア等の活動に役立てるために、県立図書館と西部読書普及センターの2箇所に、リストに掲載された図書を整備し、5市町で巡回展示を実施しました。

購入冊数：869冊

事業費：1,800千円

②子ども読書フェスティバル

子ども読書活動への理解を深めるとともに、子どもたちが読書活動に親しむきっかけとしていただくことを目指し、県内3カ所で開催しました。

事業費：600千円

(1) 出雲会場

日時：8月26日（土）、27日（日）

会場：出雲市立中央図書館



(2) 美郷会場

日時：9月20日（水）～12月17日（日）

会場：美郷町立図書館

(3) 邑南会場

日時：11月26日（日）、2月25日（日）

会場：邑南町立図書館、矢上交流センター



③「ねえ、この本読んで」プロジェクト

「ねえ！この本読んで」と子どもが親にせがみ、それに応えて親が子どもに絵本の読み聞かせをする家族の姿をイメージした読書活動で利用する「しまね子育て絵本」約1,000冊の中から、繰り返し利用するうちに破損してしまった傷みの激しいものを中心に206冊買い替えました。

事業費：231千円

(6) 竹島の領土権の確立に関する事業

【対象事業】

竹島の領土権の確立に関する事業

【事業の成果】

[出張竹島資料室の開催]

啓発パネルや資料の展示、啓発ビデオの上映などを実施しました。

- ・ 隠岐郡4町村 7月
- ・ 大田市 9月

[竹島資料室の展示機能・展示内容の充実]

竹島資料室の年間来室者数は、5,267人です。

(1) 竹島問題啓発推進員の配置 1名

- ・ 展示の解説、出張講座の実施 19回

(2) 広報啓発資料等の作成

- ・ 学習リーフレット 20,000部
- ・ 竹島啓発ポスター 2,000部
- ・ 公用車掲示用啓発ステッカー 92枚
- ・ 啓発看板 1基
- ・ 啓発グッズ

シャープペンシル 4,950本、ステッカー 3,000枚
缶バッジ 2,900個、色鉛筆 3,500個



事業費：8,988千円

(7) 森林の保全及び整備に関する事業

【対象事業】

森林林業体験活動促進事業（県民の森整備）

【事業の成果及び事業費】

14回の県民の森ふれあい講座を開催し、登山やトレッキング等に233人の参加をいただきました。

また、遊歩道や登山道に倒れた樹木の処理や、松くい虫被害木の伐採、遊歩道の刈払い等を行い、同講座の参加者に限らず、県内外から訪れる多数の登山者等に県民の森を安心して利用していただいています。

事業費：4,252千円



(8) 防災対策の推進に関する事業

【対象事業】

地域防災人材育成研修

【事業の成果及び事業費】

③地域防災人材育成研修

地域の防災力向上に向けて、自主防災組織の結成及び活動促進、市町村職員の防災意識向上につながる研修を県内で5回実施しました。

- (1) 風水害を想定した町災害対策本部図上訓練（美郷町 1回）
- (2) 地域防災ワークショップ、住民主体による避難訓練（浜田市 4回）
（地区ごとの事前研修、関係機関合同ミーティング、実働避難訓練）

事業費1,000千円

美郷会場での町災害対策本部図上訓練



浜田市での住民主体による実働避難訓練



(9) 移住及び定住の促進に関する事業

【対象事業】

ふるさと島根定住促進事業

【事業の成果及び事業費】

移住・定住の促進を図るため、Uターン希望者に対し魅力ある情報発信を行うとともに、相談・人材誘致のためにUターンフェアを実施しました。

(1) Uターン希望者に対し魅力ある情報発信

様々な広告媒体を活用し、Uターン希望者に対する情報発信を行いました。

- ・子育てライフスタイル紙への誌面掲載
- ・農林漁業求人サイトへのバナー広告の掲載 など

(2) しまねUターンIターンフェア

会場規模の拡大や広報強化等により、来場者数が過去最高の1,658名となりました。

- ・大阪 平成29年 9月24日（日） 484名
- ・東京 平成29年11月26日（日） 905名
- ・広島 平成30年 1月27日（土） 269名



大阪会場
Uターン先輩ブース



広島会場
Uターン総合相談